



柳都大橋と朱鷺メッセ

第14回 通常総会特集号

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」！

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に！

消費税期限内納付

法人会 一声運動

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
新潟法人会
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699



役にたつホームページ

公益社団法人 新潟法人会

第14回通常総会開催

去る6月4日(水)午後2時より「新潟グランドホテル」において、第14回通常総会が盛大に開催されました。

並木会長挨拶の後、議長に選任され審議が行われました。



並木会長挨拶

本日は、ご多用のところ第14回通常総会にご参加いただき誠にありがとうございます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

また本日は、公務ご多忙の中、ご来賓として知野新潟税務署長をはじめ、税務署や新潟県、新潟市、並びに関東信越税理士会、並びに福利厚生制度協力保険会社の幹部の皆様からもご出席をいただくとともに、日ごろから当会へのご理解と指導をいただいていますことを心より深く感謝いたします。大変ありがとうございます。

さて、本総会におきましては、令和6年度の「収支決算」及び「役員選任」が主な審議事項となります。また、「事業報告」「事業計画」「収支予算」につきましては、理事会にて

ご承認いただいておりますので、この場は、ご報告とさせていただきます。

令和7年度もすでに始まっておりますが、人口減少という我が国最大の課題が進行する中で、新潟県でも急速な人口減少が進んでおり、同時に生産年齢人口が減少している状況にあります。会員企業様におかれましても、こうした現況下、労働力不足という厳しい課題に直面しており、この課題に対して各社はひとつには女性活躍促進、ひとつにはシニア層・外国人労働力の確保など、様々な主体的な取り組みを行っておられます。こうした中で当法人会でも生産性の向上を図りながら、少ない人員でも付加価値を生み出すことができる、いわゆる、デジタル化、この推進・定着に取り組んでいるところであり、その一環としてe-ITax

に関係団体と協力し、連携を密にししながら、取り組みをし、実績を着実に向上させてきているところとです。一方で、経営層のデジタルに対する苦手意識、あるいは、自社の体制未整備等、これらを理由として、改善が必要なる事例も見られます。従いまして、今年度は全国トップクラスを目指すという気構えで取り組みを一層強化してまいりたいと思っています。

また、法人会として新潟県も全国同様会員減少という今後の組織力、財政面に大きな影響を与える事象への対応も喫緊の課題となっています。令和7年度につきましても、引き続き法人会の基本理念、これに立脚をして、会員の皆様と課題を共有し、一層の連携を深めながら様々な活動に取り組むことにより、会員企業と地域社会の健全な発展に貢献してまいりたいと考えております。

結びとなりますが、会員企業並びに本日ご参加いただきました皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。皆様本日は長時間となりますが宜しくお願いたします。

議 事

【決議事項】

第1号議案 令和6年度決算報告承認の件

第2号議案 役員選任(案)承認の件

第3号議案 その他

【報告事項】

(1) 理事会承認事項

令和6年度事業報告

令和7年度事業計画

令和7年度収支予算

(2) その他



全法連・県連功労者表彰等表彰者

表彰受彰者は、6月16日県連通常総会席上で表彰されました。

全国法人会総連合功労者表彰

栗田 浩様 (株)栗田工務店

山作奈穂子様 (株)田代商会

川口 栄介様 (富士タクシー) (株)

新潟県法人会連合会功労者表彰

(単位会役員関係)

高橋 尚子様 (株)タカヨシ

伊藤 尚様 (有)丸五商会

大杉 一文様 (株)オオスギテック

梶山美佐男様 (新潟通信機械)

田中 一昭様 (株)田中石油

(事務局専従役員関係)

該当者なし

会員増強功労者表彰式

表彰基準を達成した団体・個人が表彰されました。

団体表彰 該当団体なし

個人表彰 佐藤 文則様

(黒埼地域部会)

渡會 元様

(大同生命保険(株))

大島 薫様

(大同生命保険(株))

特別表彰 大同生命保険(株) 新潟支社

令和7年度新潟税務署長感謝状贈呈

法人会の活動を通じて多年にわたり税務行政へ貢献された方へ知野新潟税務署長より感謝状の贈呈が行われました。

常任理事 海津 直矢様

常任理事 齋藤 昭三様

常任理事 田中 陽子様

令和6年度事業報告

〔概況〕

令和6年度の事業につきまして、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置き、納税事務のデジタル化推進など、事業計画に沿って各種活動に取り組みました。

〔公益関係〕

「税を巡る諸環境の整備改善事業」の「税に関する研修・セミナー事業」

として、実施回数は38回、合計参加申込人数1,492名と、大勢の皆様にご参加いただきました。更なる参加者増加のため、今後も魅力ある研修会の開催に努めてまいります。

「租税教育活動」では、次世代を担う児童や生徒の皆さんに、税の重要性を正しく理解し関心を持ってもらうため、税務署、税理士会等と連携して租税教育活動に積極的に取り組みました。

租税教室は、青年部会が中心となり、市内の小学校を訪問し「租税教室」を実施しております。GIGAスクール設備を有効に活用し、時短・効率化により授業内容の拡充を図るなど、工夫した授業を展開しました。

令和6年度は、市内の小学校数14校で30コマを担当し、972名の児童が受講しました。

「税に関する絵はがきコンクール」は女性部会が中心となって実施しております。租税教室等で学んだ知識、感想などを絵はがきに書くことでより理解を深めてもらうことを目的としています。

令和6年度は、新潟市内の小学校82校に絵はがきコンクールへの参加を要請し、29校から874点の作品応募がありました。応募作品数は前年よりもプラス181点の大幅増加となりました。応募作品の中から、金賞、銀賞、銅賞、優秀賞および税務署長賞を選定し表彰しました。優秀作品については、税を考える週間に合わせて、NEXT21とアピタ新潟西店、アピタ



新潟亀田店にそれぞれ掲示しました。「税についての作文」事業には、新潟税務署管内税務団体協議会の一員として参加し、中学生および高校生「税についての作文」事業の応募作品の中から、中学生・高校生のそれぞれ1編ずつに対して新潟法人会の会長賞を授与し表彰しました。

作品は令和7年2月発行の会報157号で紹介しました。

「税制改正提言活動」では、令和7年度税制改正要望事項を新潟県連と合同で作成し、全法連へ提出しております。

要望実現のための提言活動の展開として、令和6年11月28日に管内選出の衆参国會議員、県知事、県議會議長、新潟市長、市議會議長へ、「令和7年度税制改正に関する提言」を提出しました。

「地域の経済社会環境の整備・改善を図るための事業」として、経営支援に関する研修会を多彩なテーマと講師により、19回開催し、総勢1,146名の参加申し込みがありました。

社会貢献活動では、令和7年3月1日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟において、国際オリピック委員会、委員の太田雄貴氏の講演会を開催しました。

286名の皆様から参加申し込みいただき、チャリティで集まったタオルが343枚となりました。タオルは後日、新潟市社会福祉協議会や、市内の老人介護施設に寄贈させていただきました。

税の啓蒙活動と献血活動では、青年部会で令和7年3月2日(日)に新潟市東総合スポーツセンターで、小学生から大人まで楽しめる税金クイズと献血活動を実施しました。

〔共益関係〕

「組織の強化・充実」のための会員

増強に関しては、会員の減少に歯止めをかけるべく、「前年以上の会員数確保」を基本方針として、「役員一人1社以上獲得運動」など推進してきましたが、後継者問題や、物価上昇等の影響により、廃業・統合や経費削減を理由とする退会が続いています。

令和7年3月末では2,708社となり、3,000社を大きく割込んでいます。新潟法人会の基盤確保のためにも会員増強が必要不可欠です。で、皆様のご協力をお願いいたします。

福利厚生事業では、福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン「Challenge 100」が令和6年度はスタートしてから2年目に入るとともに、ビジネスガードが制度40周年の節目を迎え、推進を図りました。財政基盤維持確保のためにも、さらなる皆様のご協力をお願いいたします。

会員支援事業としては「優良経理担当職員表彰式」を令和6年10月22日(火)にホテルイタリヤ軒で開催し、23社31名の方々を表彰しました。

「管理関係」議案書記載の各種会議等を開催、並びに出席し充実を図りました。

特記事項としては、税を考える週間の「第3回イタ君カップ」に今年度も新潟税務署管内税務団体協議会のメンバーとして参加し、PRブースを設けました。ご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

記念講演会

ロールシャッハ・アドバイザリー代表取締役
ジョセフ・クラフト氏



第14回通常総会終了後に、ロールシャッハ・アドバイザリー代表取締役のジョセフ・クラフト氏に記念講演をお願いしました。

今回は先行き不透明な世界情勢の下、「日本を取り巻く世界経済・安全保障情勢」今後の動向を読み解く」と題してご講演いただきました。

クラフト氏は米国はじめ世界の政治経済情勢にご造詣が深く、今回はトランプ米大統領との関税交渉の実態や中国国内の実態などについて、氏

の知見から説得力充分にご講演頂きました。

中国が米国債の保有を減らしているという事実からの台湾有事への推察など、種々するどい指摘やご解説をいただきました。

ご講演の終盤には、「握手から紐解く欧米の本音と建て前」についてユーモアたっぷりにお話しいただき、トランプ氏が安倍元総理とした握手と石破総理とした握手の違いなど、なるほどと膝を打つシーンを多数ご解説いただきました。

「デッドフィッシュ」「アーバン」「シヤグ」などなど、皆様はどの位握手の種類をご存知でしょうか。

ジョセフ・クラフト様ご講演誠にありがとうございました。





I 活動の基本方針

公益社団法人として新潟法人会は、定款に「本会は、税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。」と定めている。

この目的を遵守し活動することを基本方針として、事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら、組織・財政基盤の強化を図るために会員増強に注力するとともに、地域の活性化にも配慮しつつ以下に掲げる諸施策に取り組む方針である。

II 主な事業計画

1. 税を巡る諸環境の整備・改善等を図る事業

(1) **税に関する研修・セミナー事業**
税知識の一層の普及・啓発に努めることとし、会員を含めた多数の市民を対象に、税務に係る幅広い知識の普及、税務コンプライアンスの向上、及び経営・財政を取り巻く諸問題の改善を目的とした

研修会やセミナーを開催する。

電子申告(e-Tax)やキャッシュレス納付等については、その普及に向けて、引き続き関連のセミナー・研修会の開催に注力する。

(2) 講演会事業

税務署幹部職員、大学教授、ジャーナリスト等様々な視点から、税制に関する考え方を聞くことで視野を広げ、「税」を身近に感じることができるよう会員・一般に広く参加を募り、社会情勢等に即したテーマの講演会を開催する。

(3) 租税教育事業

次世代を担う児童・生徒に税の仕組み等を理解してもらうため、租税教育の充実に努める。新潟税務署管内の小学校を対象に、青年部会によるGIGAスクール設備を活用した「租税教室」、女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」を継続して推進する。

(4) 税の広報事業

改正税法や税務申告の情報などの早期周知・定着及び電子申告(e-Tax)のさらなる普及に資するため、PR活動を継続していく。ホームページや広報誌に必要情報をタイムリーに掲載する。広報誌は、公共施設や金融機関窓口

配置することで、多くの市民に税務情報の提供を図る。

また、イベント会場での税に関するクイズの実施、日本の税制に関する冊子の配布などにより、市民に税制への関心を持つてもらふ事業を継続する。

(5) 税の調査研究(支援を含む)及び社会への提言事業

財政健全化と持続可能な社会保障制度を構築するため、社会保障と税の一体改革に本腰をいれて取り組むことが求められている。さらには、少子高齢化やグローバル化の進展、アフターコロナへの対応などの社会構造の変化と諸課題に広く対処していくことが必要である。

これらを踏まえ、地域の担い手である中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとして建設的な提言を行っていく。

この事業として、会員各社の税に対する意見・要望を収集し、その意見・要望をもとに、税制改正要望を取りまとめて国会、地方議会、関係官庁に向けて提言していく活動を県連・全法連と連携して進めていく。

(6) 企業の税務コンプライアンスの向上施策

企業の内部統制の強化や経理水準の向上は、企業の成長や税務リスクの軽減のために重要である。国税当局等と協力して製作した「自主点検チェックシート」を、研修会・セミナー等の開催時に活用し、税務コンプライアンス向上に積極的に取り組んでいく。

(7) 添付書類も含めたe-Taxの普及・定着及びキャッシュレス納付の利用拡大などの電子化に向けた取り組み

納税者の利便性向上、税務行政の効率化を図るため、会員企業に対し、添付書類も含めたe-Taxの利用、キャッシュレス納付等の電子化を周知・促進する。また、税務署や金融機関、関連税務団体との連携を密にして、利用率向上に向けた活動を進めていく。

2. 地域の経済社会環境の整備・改善等を図る事業

(1) 講演会・セミナーの開催事業

地域社会の活性化等を目的に、会員及び一般を対象に、政治経済情報、健康情報、福祉的情報等の講演会や実務セミナーを開催する。

講師は、政治・経済学者、ジャーナリスト、コンサルタント、アナリスト、文化人等、幅広い分野の専門家の中から選定する。

(2) 地域の福祉問題や環境問題などの改善に資する事業

会員および市民からチャリティでタオルを提供していただき、福祉施設・医療施設の現場で利用してもらうことや、広く花の種や球根を配付し環境美化活動に取り組むことで、福祉問題や環境問題の改善への貢献を図る。

また、日本赤十字社新潟県支部と共同で、社会貢献活動の一環として、スポーツイベント会場等を利用し、献血活動に協力する。

3. 会員支援のための親睦・交流及び福利厚生に資する事業

(1) 組織の強化・充実

法人会活動を充実させるためには、組織・基盤強化が重要であることから、会員数を維持・増加を図るための諸施策を実施する。

役員の率先した参画と指導および協力保険会社3社との連携強化により新規会員募集の推進を行うとともに、退会防止策を講じる等の対応策を展開する。

法人会事務局のガバナンス強化、職員の資質向上を目的として、

地域部会事務担当者会議を開催する。

(2) 広報活動の充実

会報の年3回発行などにより、法人会の知名度アップ・活動内容の周知を図り、会員増強等に資する広報活動に取り組む。

ポスター・新聞広告等によるPRを行うほか、ホームページの充実、パブリシティ活用等の広報活動を展開する。

(3) 女性部会・青年部会の充実

① 「女性部会のあり方(指針)」に沿って、女性部会員の資質向上と法人会活動の充実・活性化に努める。

税の啓発活動としての小学生対象の「税に関する絵はがきコンクール」や食品ロス削減への取組みの検討などの社会貢献活動を積極的に進める。

② 青年部会の活動としてGIGAスクール設備を活用した「租税教室」を推進し、「部会員増強運動」、「財政健全化のための健康経営プロジェクト事業」、「献血活動」等についても、引き続き積極的な展開を図る。

(4) 法人会会員の福利厚生の向上に資することを目的とする事業

会員企業の福利厚生の向上に資するため、また法人会の財政基盤の一層の強化を図るため、協力保険会社3社との一層の連携強化により、福利厚生制度の充実、推進を図っていく。

(5) 優良経理担当職員表彰

会員企業の経理業務に永年の功労があつた担当者に対し、新潟法人会会長名により「優良経理担当職員表彰」を行う。

これらにより、一層の納税協力活動の推進者を育成するとともに、会員企業の発展を支える人材の育成に寄与する。

4. 本会の組織を充実し全国法人会総連合・新潟県法人会連合会と連携強化を図る事業

会員支援のために、異業種交流の一環として、会員間の情報交換や相互の親睦事業を行うほか、会員等に限定した研修会講習会などの事業を行う。

5. 本会の活動に関係する諸官公庁との連携を図る事業

6. その他、本会の目的達成に必要な事業

〔第1号議案〕令和6年度 決算報告承認の件

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	38,456,866	37,162,539	1,294,327
現金	33,875	102,775	△ 68,900
普通預金	35,422,991	34,059,764	1,363,227
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
前払金	0	21,000	△ 21,000
【流動資産合計】	38,456,866	37,183,539	1,273,327
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
【基本財産合計】	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,211,469	3,380,344	831,125
【特定資産合計】	4,211,469	3,380,344	831,125
(3) その他固定資産			
建物	13,813,899	14,830,873	△ 1,016,974
建物附属設備	679,632	737,690	△ 58,058
土地	43,913,266	43,913,266	0
電話加入権	72,800	72,800	0
保証金	50,000	50,000	0
【その他固定資産合計】	58,529,597	59,604,629	△ 1,075,032
【固定資産合計】	67,741,066	67,984,973	△ 243,907
【資産合計】	106,197,932	105,168,512	1,029,420
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	900,137	755,897	144,240
預り金	337,800	395,766	△ 57,966
【流動負債合計】	1,237,937	1,151,663	86,274
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,211,469	3,380,344	831,125
【固定負債合計】	4,211,469	3,380,344	831,125
【負債合計】	5,449,406	4,532,007	917,399
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
【指定正味財産合計】	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	100,748,526	100,636,505	112,021
【一般正味財産合計】	100,748,526	100,636,505	112,021
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
【正味財産合計】	100,748,526	100,636,505	112,021
【負債及び正味財産合計】	106,197,932	105,168,512	1,029,420

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
福利厚生費	2,249,874	2,035,192	214,682	
事務委託費	793,880	765,400	28,480	
旅費交通費	1,004,366	554,648	449,718	
通信運搬費	388,745	453,750	△ 65,005	
減価償却費	903,028	889,202	13,826	
消耗品費	636,058	824,581	△ 188,523	
修繕費	0	1,352,780	△ 1,352,780	
印刷製本費	63,287	31,691	31,596	
燃料費	15,289	14,407	882	
光熱水料費	360,800	363,202	△ 2,402	
保険料	77,230	70,636	6,594	
租税公課	771,691	771,859	△ 168	
リース料	1,305,428	1,321,880	△ 16,452	
事務所管理費	787,444	791,972	△ 4,528	
委託費	3,503,802	3,592,575	△ 88,773	
支払手数料	680,628	631,367	49,261	
雑費	82,110	90,893	△ 8,783	
管理費	6,212,367	7,744,529	△ 1,532,162	
役員報酬	268,920	348,600	△ 79,680	
給料手当	1,312,632	1,744,878	△ 432,246	
退職給付費用	89,761	73,307	16,454	
福利厚生費	272,407	331,309	△ 58,902	
事務委託費	96,120	124,600	△ 28,480	
旅費交通費	121,604	90,292	31,312	
通信運搬費	47,068	73,866	△ 26,798	
減価償却費	172,004	169,371	2,633	
消耗品費	77,011	134,233	△ 57,222	
修繕費	0	220,220	△ 220,220	
印刷製本費	7,663	5,159	2,504	
燃料費	1,851	2,345	△ 494	
光熱水料費	43,683	59,126	△ 15,443	
保険料	9,350	11,499	△ 2,149	
租税公課	146,989	147,021	△ 32	
リース料	158,056	215,190	△ 57,134	
事務所管理費	95,339	128,926	△ 33,587	
委託費	424,229	584,837	△ 160,608	
支払手数料	82,408	102,781	△ 20,373	
会議費	2,287,665	2,466,979	△ 179,314	
総会費	1,388,192	1,324,338	63,854	
役員会費	814,433	984,493	△ 170,060	
委員会費	25,340	29,200	△ 3,860	
その他会議費	59,700	128,948	△ 69,248	
諸会費	460,300	463,900	△ 3,600	県連、商工会議所他
渉外慶弔費	27,365	25,000	2,365	
表彰費	0	206,293	△ 206,293	
雑費	9,942	14,797	△ 4,855	
経常費用計(B)	54,184,528	56,289,613	△ 2,105,085	
当期経常増減額(A - B)	112,021	△ 1,517,325	1,629,346	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	112,021	△ 1,517,325	1,629,346	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	112,021	△ 1,517,325	1,629,346	
一般正味財産期首残高	100,636,505	102,153,830	△ 1,517,325	
一般正味財産期末残高	100,748,526	100,636,505	112,021	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,153,500	20,556,700	△ 403,200	
受取全法連助成金	20,153,500	20,556,700	△ 403,200	
一般正味財産への振替額	△ 20,153,500	△ 20,556,700	403,200	
一般正味財産への振替額	△ 20,153,500	△ 20,556,700	403,200	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	100,748,526	100,636,505	112,021	

令和6年度正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	100	100	0	
基本財産受取利息	100	100	0	
特定資産運用益	1,843	29	1,814	
特定資産受取利息	1,843	29	1,814	
受取会費	28,472,755	28,948,240	△ 475,485	
正会員受取会費	28,379,355	28,851,240	△ 471,885	
賛助会員受取会費	93,400	97,000	△ 3,600	
事業収益	3,670,925	3,008,345	662,580	
会員親睦事業収益	2,966,200	2,373,500	592,700	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	704,725	634,845	69,880	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	21,942,500	22,468,700	△ 526,200	
受取全法連助成金振替額(A)	20,153,500	20,556,700	△ 403,200	
受取全法連助成金(B)	350,000	440,000	△ 90,000	
受取全法連補助金(B)	264,000	302,000	△ 38,000	会員増強支援・福利厚生推進補助
受取県連補助金(B)	1,175,000	1,170,000	5,000	
雑収益	208,426	346,874	△ 138,448	
受取利息	26,127	488	25,639	
雑収益	182,299	346,386	△ 164,087	
経常収益計(A)	54,296,549	54,772,288	△ 475,739	
(2) 経常費用				
事業費	47,972,161	48,545,084	△ 572,923	
(税に関する研修会事業)	1,341,084	1,973,443	△ 632,359	
会場費	115,050	116,135	△ 1,085	
資料費	673,004	934,442	△ 261,438	
通信運搬費	122,589	195,502	△ 72,913	
消耗品費	82,051	184,721	△ 102,670	
印刷製本費	266,716	348,147	△ 81,431	
諸謝金	22,274	135,096	△ 112,822	
委託費	59,400	59,400	0	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	2,383,867	2,482,416	△ 98,549	
資料費	2,383,867	2,482,416	△ 98,549	
(租税教育事業)	906,650	934,265	△ 27,615	
委員会費	44,900	21,626	23,274	
旅費交通費	34,300	56,000	△ 21,700	
通信運搬費	51,450	46,397	5,053	
消耗品費	254,473	443,904	△ 189,431	
印刷製本費	177,188	297,406	△ 120,218	
支払負担金	124,339	68,932	55,407	
委託費	220,000	0	220,000	
(税の広報事業)	101,608	101,652	△ 44	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
支払負担金	79,608	79,652	△ 44	
(会報発行事業)	3,015,680	2,602,155	413,525	
会報作成費	2,946,260	2,526,425	419,835	
委員会費	69,420	75,730	△ 6,310	
(税制改正提言事業)	56,552	68,533	△ 11,981	
調査研究費	49,952	60,533	△ 10,581	
委員会費	6,600	8,000	△ 1,400	
(地域社会経営支援研修事業)	3,038,617	3,359,832	△ 321,215	
会場費	637,556	607,515	30,041	
資料費	809,650	1,059,350	△ 249,700	
通信運搬費	107,321	70,478	36,843	
消耗品費	49,409	184,924	△ 135,515	
印刷製本費	223,255	381,930	△ 158,675	
諸謝金	1,136,526	979,235	157,291	
支払負担金	15,500	17,000	△ 1,500	
委託費	59,400	59,400	0	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	1,551,000	1,353,000	198,000	
資料費	1,551,000	1,353,000	198,000	
(地域社会貢献活動事業)	2,187,211	2,149,960	37,251	
会場費	544,286	870,787	△ 326,501	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
委員会費	12,000	12,000	0	
通信運搬費	13,335	19,708	△ 6,373	
消耗品費	265,880	285,994	△ 20,114	
印刷製本費	89,650	96,525	△ 6,875	
諸謝金	1,240,060	842,946	397,114	
(組織基盤強化のための支援事業)	204,600	350,832	△ 146,232	
会員増強推進費	187,400	350,832	△ 163,432	
委員会費	17,200	0	17,200	
(会員支援事業)	853,680	646,012	207,668	
会員表彰事業費	820,680	587,012	233,668	
委員会費	33,000	59,000	△ 26,000	
(会員交流事業)	4,838,970	4,615,621	223,349	
会員交流費	4,838,970	4,615,621	223,349	
(会員の福利厚生の推進に関する事業)	65,170	41,078	24,092	
福利厚生事業費	65,170	41,078	24,092	
(管理費のうち事業費配賦額)	27,427,472	27,866,285	△ 438,813	
役員報酬	2,221,080	2,141,400	79,680	
給料手当	10,841,368	10,718,532	122,836	
退職給付費用	741,364	450,318	291,046	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
退職給付費用	694,609	628,140	66,469	
福利厚生費	2,173,270	2,065,350	107,920	
事務委託費	764,510	750,270	14,240	
旅費交通費	944,900	843,000	101,900	
通信運搬費	360,780	337,200	23,580	
リース料	1,108,110	1,299,906	△ 191,796	
減価償却費	903,028	884,442	18,586	
消耗品費	601,300	758,700	△ 157,400	
修繕費	68,720	67,440	1,280	
印刷製本費	60,130	84,300	△ 24,170	
燃料費	25,770	25,290	480	
光熱水料費	343,600	337,200	6,400	
保険料	74,372	69,294	5,078	
租税公課	771,691	771,691	0	固定資産税
委託費	2,834,700	3,624,900	△ 790,200	
事務所管理費	755,920	741,840	14,080	
支払手数料	627,070	783,990	△ 156,920	
雑費	85,900	101,160	△ 15,260	
管理費	7,183,977	7,913,429	△ 729,452	
役員報酬	351,090	390,930	△ 39,840	
給料手当	1,734,300	1,915,400	△ 181,100	
退職給付費用	114,016	116,985	△ 2,969	
福利厚生費	356,730	384,650	△ 27,920	
渉外慶弔費	50,000	50,000	0	
表彰費	70,000	30,000	40,000	
事務委託費	125,490	139,730	△ 14,240	
会議費	2,310,000	2,420,000	△ 110,000	
総会費	1,400,000	1,400,000	0	
役員会費	800,000	900,000	△ 100,000	
委員会費	20,000	20,000	0	
その他会議費	90,000	100,000	△ 10,000	
旅費交通費	155,100	157,000	△ 1,900	
通信運搬費	59,220	62,800	△ 3,580	
リース料	181,890	242,094	△ 60,204	
減価償却費	172,004	168,465	3,539	
消耗品費	98,700	141,300	△ 42,600	
修繕費	11,280	12,560	△ 1,280	
印刷製本費	9,870	15,700	△ 5,830	
燃料費	4,230	4,710	△ 480	
光熱水料費	56,400	62,800	△ 6,400	
保険料	12,208	12,906	△ 698	
租税公課	146,989	146,989	0	固定資産税
諸会費	458,050	460,300	△ 2,250	県連、商工会議所他
委託費	465,300	675,100	△ 209,800	
事務所管理費	124,080	138,160	△ 14,080	
支払手数料	102,930	146,010	△ 43,080	
雑費	14,100	18,840	△ 4,740	
経常費用計(B)	53,870,967	54,575,012	△ 704,045	
当期経常増減額(A - B)	9,733	29,218	△ 19,485	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	9,733	29,218	△ 19,485	
法人税、住民税、および事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	9,733	29,218	△ 19,485	
一般正味財産期首残高	100,748,526	100,719,308	29,218	
一般正味財産期末残高	100,758,259	100,748,526	9,733	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,279,000	20,153,500	125,500	
受取全法連助成金	20,279,000	20,153,500	125,500	
一般正味財産への振替額	△ 20,279,000	△ 20,153,500	△ 125,500	
一般正味財産への振替額	△ 20,279,000	△ 20,153,500	△ 125,500	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	100,758,259	100,748,526	9,733	

令和7年度収支予算書(損益計算ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	5,500	100	5,400	
基本財産受取利息	5,500	100	5,400	
特定資産運用益	4,200	30	4,170	
特定資産受取利息	4,200	30	4,170	
受取会費	28,400,000	29,300,000	△ 900,000	
正会員受取会費	28,300,000	29,200,000	△ 900,000	
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0	
事業収益	3,472,000	3,430,000	42,000	
会員親睦事業収益	2,800,000	2,800,000	0	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	672,000	630,000	42,000	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	21,859,000	21,773,500	85,500	
受取全法連助成金振替額(A)	20,279,000	20,153,500	125,500	
受取全法連助成金(B)	350,000	350,000	0	
受取全法連補助金(B)	80,000	100,000	△ 20,000	会員増強支援
受取県連補助金(B)	1,150,000	1,170,000	△ 20,000	
雑収益	140,000	100,600	39,400	
受取利息	40,000	600	39,400	
雑収益	100,000	100,000	0	
経常収益計(A)	53,880,700	54,604,230	△ 723,530	
(2) 経常費用				
事業費	46,686,990	46,661,583	25,407	
(税に関する研修会事業)	1,840,000	2,119,400	△ 279,400	
会場費	130,000	130,000	0	
資料費	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
諸謝金	70,000	70,000	0	
通信運搬費	180,000	180,000	0	
消耗品費	150,000	180,000	△ 30,000	
印刷製本費	250,000	400,000	△ 150,000	
委託費	60,000	59,400	600	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	1,650,000	1,860,000	△ 210,000	
資料費	1,650,000	1,860,000	△ 210,000	
(租税教育事業)	916,000	991,000	△ 75,000	
委員会費	40,000	30,000	10,000	
旅費交通費	40,000	50,000	△ 10,000	
通信運搬費	60,000	45,000	15,000	
消耗品費	310,000	260,000	50,000	
印刷製本費	210,000	280,000	△ 70,000	
支払負担金	56,000	126,000	△ 70,000	
委託費	200,000	200,000	0	租税教室講師用ツール作成
(税の広報事業)	102,000	102,000	0	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
支払負担金	80,000	80,000	0	
(会報発行事業)	2,920,000	2,560,000	360,000	
会報作成費	2,850,000	2,500,000	350,000	増頁反映
委員会費	70,000	60,000	10,000	
(税制改正提言事業)	70,000	70,000	0	
調査研究費	60,000	60,000	0	
委員会費	10,000	10,000	0	
(地域社会経営支援研修事業)	3,420,000	3,709,400	△ 289,400	
会場費	600,000	600,000	0	
資料費	800,000	900,000	△ 100,000	
諸謝金	1,550,000	1,650,000	△ 100,000	
通信運搬費	70,000	50,000	20,000	
消耗品費	120,000	190,000	△ 70,000	
印刷製本費	200,000	250,000	△ 50,000	
委託費	60,000	59,400	600	
支払負担金	20,000	10,000	10,000	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	1,500,000	1,500,000	0	
資料費	1,500,000	1,500,000	0	
(地域社会貢献活動事業)	1,912,000	1,932,000	△ 20,000	
会場費	540,000	500,000	40,000	
諸謝金	1,000,000	1,000,000	0	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
委員会費	20,000	20,000	0	
通信運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	200,000	260,000	△ 60,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
(組織基盤強化のための支援事業)	360,000	520,000	△ 160,000	
会員増強推進費	340,000	500,000	△ 160,000	
委員会費	20,000	20,000	0	
(会員支援事業)	1,220,000	660,000	560,000	
会員表彰事業費	1,190,000	600,000	590,000	
委員会費	30,000	60,000	△ 30,000	
(会員交流事業)	4,804,000	4,030,000	774,000	
会員交流費	4,750,000	4,000,000	750,000	会場費・飲食費他
租税公課	54,000	30,000	24,000	消費税
(会員の福利厚生制度推進に関する事業)	70,000	50,000	20,000	
福利厚生事業費	70,000	50,000	20,000	
(管理費のうち事業費配賦額)	25,902,990	26,557,783	△ 654,793	
役員報酬	2,138,910	2,099,070	39,840	
給料手当	10,565,700	10,284,600	281,100	

役員名簿

令和7年6月

役員は非常勤（専務理事：常勤）

は新任

【理事】

役名	氏名	法人名
会長	並木 富士雄	㈱第四北越フィナンシャルグループ
副会長	高橋 秀松	㈱高助
〃	廣瀬 徳男	㈱廣瀬
〃	関本 喜代一	㈱関本製麺製粉工場
〃	高橋 尚子	㈱タカヨシ
〃	金井 利郎	金井度量衡㈱
常任理事	伊藤 尚	㈲丸五商会
〃	栗田 浩	㈱栗田工務店
〃	鈴木 壽男	㈱スズキ紙器
〃	横山 山人	越後工業㈱
〃	伊藤 正弘	㈱北辰鑑定リサーチ
〃	廣田 幹人	新潟総合警備保障㈱
〃	山口 正人	㈲山口建築事務所
〃	坪谷 寛行	日本海不動産㈱
〃	村山 栄一	大協リース㈱
〃	山作 奈穂子	㈱田代商会
〃	遠藤 俊介	愛宕商事㈱
〃	樋口 宏子	双峰通信工業㈱
理事	白井 一止	(一社)新潟県自動車整備振興会
〃	与口 幸子	㈱新潟日報社
〃	藤田 直也	(一社)新潟市建設業協会
〃	外山 洋史	㈱トカン
〃	村瀬 昌志	㈱いりやまと
〃	平澤 利明	昭栄産業㈱

役名	氏名	法人名
理事	綿井 伸行	㈱新潟関屋自動車学校
〃	津野 芳彰	マイコロジーテクノ㈱
〃	吉田 竹史	㈱吉運堂
〃	関本 浩司	セキモト㈱
〃	鈴木 元近	㈱シグマネット
〃	碓井 勝尋	㈱フィール
〃	田中 健一	㈱クオリス
〃	川口 栄介	富士タクシー㈱
〃	後藤 透	金清木材㈱
〃	佐藤 信久	㈱千代田設備
〃	大杉 一文	㈱オオスギテック
〃	梶山 美佐男	新潟通信機㈱
〃	田中 一昭	㈱田中石油
〃	堀川 吉明	堀川建設㈱
〃	坂上 隆行	(福)敬世会 あがのこども園
〃	櫛谷 努	クシヤ㈱
〃	佐藤 貴洋	㈱佐藤商会
〃	志田 征二郎	㈱DI Palette
〃	遠山 亮	新潟県印刷工業組合
〃	本間 健二	㈱丸屋本店
〃	高橋 剛	㈱シゲル・コーポレーション
〃	本間 健夫	㈱江口屋
〃	齋藤 千江子	(事務組合)新潟中央労務管理センター
〃	清水 智彦	㈲エルエイジー

役名	氏名	法人名
理事	佐藤 久栄	丸榮製粉㈱
〃	阿部 隆一	富士印刷㈱
〃	藤村 実	㈱藤村式黑板製作所
〃	宗村 勇二	㈲ムネケン
〃	篠澤 貴徳	東邦実業㈱
〃	寺尾 俊幸	㈲笹山モータース
外部理事	川端 大輔	川端大輔法律事務所
専務理事	小田 敏博	(公社)新潟法人会

【監事】

役名	氏名	法人名
監事	梅川 正志	木山産業㈱
外部監事	桜井 昇	桜井昇税理士事務所

監事 2名 会長 1名
 副会長 5名
 常任理事 12名
 理事 37名
 専務理事 1名
 56名

2024 年度の新規ご入会企業（法人正会員）

法人会では2024年4月から2025年3月までの1年間に、40社の企業を新規会員としてお迎えいたしました。業種の枠を超え、地元企業の情報交換や親交を深める場として、法人会の事業活動をご利用ください。

会員名	会員住所	業種
bambino tesoro (株)	新潟市江南区嘉瀬 1438-1	人材コンサルティング
大川スチール(株)	新潟市北区太郎代字山の下 1523-3	建築鉄骨
(有)丸田板金	新潟市東区逢谷内 1-11-10	建築板金等
(有)岩野工業	新潟市北区上土地亀 796-1	溶接業
(株)丸久建築	新潟市中央区女池 1-13-15	建築業
(株)第四北越フィナンシャルグループ	新潟市中央区東堀前通七番町 1071-1	銀行その他銀行法で子会社とできる会社の経営管理・付帯関連する一切の業務
五十嵐建設工業(株)	新潟市江南区下早通柳田 2-2-17	総合建設業
(株)ニュースペース	新潟市中央区山ニツ 576-11	人材請負
(有)橋本屋	新潟市西区黒鳥 5956	旅館業
(株)もみの木ハウス新潟	新潟市西区寺地 548	建設業
(株)リベラル	新潟市西区大野町 3673	電気工事業
(株) WAKATSUKI	新潟市中央区姥ヶ山 545	建設解体業
(有)風間調査設計事務所	新潟市江南区早通 3-1245-1	サービス業
(有)エスエス工業	新潟市江南区横越上町 2-12-16	建設業
(有)ケーエムプランニング	新潟市西区小新西 3-6-13	飲食業
イーテクノ(株)	新潟市中央区南出来島 2-7-32	電気工事業
(株)栗田電気保安管理事務所	新潟市東区幸栄 2-16-12	電気保安管理
(株)細川洋蘭農園	新潟市江南区茗荷谷西囲 1159	園芸、小売業
(有)サンガーデン	新潟市中央区本町通 6 番町 1106-3	花植木卸小売業
(株) MiKUMARi	新潟市東区牡丹山 3-1-1	コンサルティング
(特非)新潟介護予防協会	新潟市中央区白山浦 2-186-5	居宅介護支援事業
(株)三光電機商会	新潟市中央区万代 4-5-16	蓄電池販売・据付業
(株)大鐵	新潟市北区島見町 4784-4	建設業
(株)しづわた	新潟市東区中野山 4-9-20	介護・医療
第四北越キャピタルパートナーズ(株)	新潟市中央区東大通 2-1-18	投資会社
(株)ブリッジにいがた	新潟市中央区東堀前通七番町 1071-1	地域商社
大明電業(株)	新潟市中央区川岸町 3-23	建設業
(株)トモダテツナヒコ	新潟市中央区西堀通 6-885	生活関連サービス業
創明工業(株)	新潟市江南区江口 2156-1	建設業
(株)タケファーム	新潟市北区太夫浜 3288-4	養豚
(株) Connect	新潟市東区東明 2-5-1	宅地建物取引業
合同会社 RISE	新潟市北区早通北 2-6-5-1	舗装業
(株)アレーズ	新潟市東区大山 2-11-14	建築業
新電力新潟(株)	新潟市中央区東堀通一番町 494-3	小売電気事業
(株)エコテック	新潟市江南区早通 6-2-7	住宅設備機器販売
(有)すゞき生花店	新潟市中央区女池上山 4-1-21	生花販売
(株)スリーマイルズテアーシー	新潟市西区平島 1-6-2	卸売業（オートバイ販売）
医療法人社団 神田歯科医院	新潟市中央区関屋浜松町 98	歯科医院
エム・ディ・エンジニアリング(株)	新潟市東区豊 1-12-29	製造業
craftsman (株)	新潟市北区内島見 807-6	建設業

（ご入会日順）

新 署 長 ご 挨 拶

新潟法人会の皆さん こんにちは！

新潟税務署長 伏木 生祐子 氏



本年7月の人事異動により、関東信越国税局徴収部次長から新潟税務署長として着任しました伏木生祐子でございます。

私は埼玉県出身で、新潟県での勤務、生活は初めてとなります。皆様から、新潟の歴史、伝統、素晴らしいところなどを教えていただきながら、新潟ライフを楽しみたいと考えています。1年間、よろしく願っています。

公益社団法人新潟法人会の皆様には、日頃から税務行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、

厚くお礼申し上げます。

新潟法人会におかれましては「よき経営者を目指すものの団体」として税知識の普及や納税意識の高揚を図るための啓発活動に熱心に取り組まれ、申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な運営にとって、欠くことのできない大きな役割を果たしておられます。

決算期別説明会をはじめとする各種研修会の開催、青年部会を中心とした租税教室への講師派遣、女性部会を中心に税に関する絵ハガキコンクールを開催するなど、積極的に公益活動を実施していただいております。

こうした皆様の活動は、税知識の普及、納税意識の高揚だけでなく、地域企業と地域社会の健全な発展に大いに貢献されており、重ねて、心から敬意を表する次第であります。

さて、新潟県下におかれては、昨年10月31日に法人会をはじめとする官民の団体が連携して「新潟県下一斉キャッシュレス納付推進共同宣言」を行うなど税公金のデジタル化への推進に積極的に取り組んでいただき感謝申し上げます。国税当局では、税務行政のDXとして「納税者の利便性の向上」「課税・徴収事務の効率化・高度化」に加え「事業者のデジタ

ル化促進」に取り組み、社会全体のDXを推進してまいりますので、新潟法人会会員の皆様方におかれましては、e-Taxの更なる推進やダイレクト納付をはじめとしたキャッシュレス納付の推進に対しまして、より一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人新潟法人会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。



前列 伏木生祐子署長、後列 左より五十嵐記子副署長、畑山憲亮統括国税調査官、土田智上席国税調査官

新潟税務署人事異動(法人関係)

令和7年7月

〔転入〕

署長	伏木生祐子	局徴収部次長
総務課長	梨本 俊明	上尾署 総務課長
特別国税調査官(法人)	宮澤 正和	川口署 総務課長
特別国税調査官(法人)	堀川 晃	高崎署 特別国税調査官(法人)
法人課税第一部門統括国税調査官	畑山 憲亮	長岡署 法人課税第一部門統括国税調査官
法人課税第二部門統括国税調査官	前山 晃	前橋署 法人課税第一部門連絡調整官
法人課税第三部門統括国税調査官	宮本 鉄也	高崎署 法人課税第六部門統括国税調査官
法人課税第一部門連絡調整官	関 望	前橋署 酒類指導官総括上席国税調査官

〔転出〕

長岡署 税務広報広聴官	坂井 愛	税務広報広聴官
東京局課税第一部訟務官	馬田 茂喜	特別国税調査官(法人)
大宮署 特別国税調査官(法人)	永吉 義幸	特別国税調査官(法人)
諏訪署 特別国税調査官(法人)	大平 朗	法人課税第一部門統括国税調査官
浦和署 法人課税第四部門統括国税調査官	澁谷 敬之	法人課税第二部門統括国税調査官
新発田署 法人課税部門統括国税調査官	伊丹 信人	法人課税第三部門統括国税調査官

〔署内異動〕

特別国税調査官(開発)	石川 勲	総務課長
税務広報広聴官	山口 香織	法人課税第一部門連絡調整官

〔退職〕

知野 儀行	署長
-------	----

イー ネンチョウ
いいね!! e-年調

年末調整手続の電子化で 業務の効率化



みなさん！年末調整の
業務を効率化してみませんか？

何をすればいいですか？

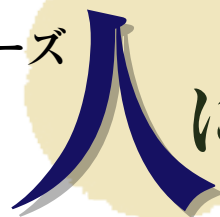
答えは、
**年末調整手続の
電子化！**

年末調整手続の電子化のメリット

勤務先（給与の支払者）	従業員（給与所得者）
① 関係書類の配付や回収が不要！ ② 控除額や添付書類のチェックが簡単！ ③ 会社のシステムへの手入力作業が不要！ ④ 書類の保管場所も不要！	① 手書きでの書類作成が不要！ ② 控除額はソフトが自動計算！ ③ テレワーク中の従業員も提出可能！ ④ マイナポータル連携を利用すれば、 保険料等の証明書をまとめて取得可能！



シリーズ



人にいがた発見 その1

このシリーズは新潟発で活躍されている方々をご紹介します。

「レースというルールの中、 スポーツの中で戦って」

合同会社 P & U
代表社員

遠藤 卓実さん



《プロフィール》

氏名 遠藤 卓実（えんどう たくみ）
1984年 新潟市北区生まれ
2005年 新潟工業短期大学卒業（自動車整備士）
2008年 MotoGP世界選手権ワイルドカード参戦
2009年 ドイツ国際選手権参戦（3位表彰台）
2013年 （有）OTS 事業再構築完了（黒字転換）
2013年 起業（ドイツ・デュッセルドルフ）
2022年 事業全部譲渡（ドイツ・デュッセルドルフ）
2022年 遠藤工業所（家業）承継
2023年 合同会社 P & U 設立（法人成り）

—— 本日は、自動車のボディー製作をはじめ、製造業を営む合同会社 P & U 代表社員の遠藤卓実さんにお話を伺います。事業のお話をお聞きする前に、今号では10代・20代で活躍されたオートバイレーサーのご経験について教えてください。

今でも、周囲からは「遠藤さんの人生はアニメ化できるよ」なんて冗談半分に言われることがあります（笑）。新潟工業短期大学在学中の二十歳の時、ロードレースデビューを果たしました。

—— 学業との両立は大変でしたか？

学内でも異例のことだったので、土日だけでなく平日も授業を休んでレースに出るのに苦労しました。私が無事に学校を卒業できたのは、恩師である近藤先生のおかげです。今も新潟工業短期大学で教鞭を執っている方ですが、近藤先生が学長にかけ合ってくださったおかげでレース参戦の許可をもらうことができました。

—— プロレーサーになられたきっかけは？

始まりは、子どもの時の夢でしうか。私の家庭はちよつと変わり者だったので、当時BS放送でやっていたオートバイのレースをよく見ていて。まだまだ日本ではプロレー

サーが注目されていない時代に「この舞台で活躍してみたい」と思うようになりました。学校で「オートバイのレーサーになりたい」と言うと、よく先生に怒られたものです（笑）。

—— モータースポーツが良く思われていなかったのですか？

暴走族が流行った時代でしたからね。当時はオートバイに関わること自体が悪という教育環境でしたから。でも、否定されればされるほど、私の中では反骨精神が湧いてきて、それはおかしいぞと感じるようになって、インターネットの掲示板に思いの丈を書き込んだこともありました。そうしたら、一瞬で炎上してしまつて。反省しつつも、「自分の好きなものを、胸を張って好きと言うためにはどうしたらいいのだろう」と思った矢先、スポーツで結果を出せばいいんだと決心しました。

—— 苦労したことは？

大人たちに不快な言葉を投げられながら、ずつともやもやしながら中学時代を耐えて、16歳になってようやく原付免許を取ってやっとバイクに乗れるようになりました。しかし、本気で世界を目指す人たちと比べたら私はすでに出遅れていました。それでもやりたいと思えたのは、オートバイの世界をもつと魅力あるものだと思えたからです。レースとい

うルールの中、スポーツの中で戦って、結果を残さなきゃいけないという使命感のようなものを感じて挑戦し続けてきました。

—— 周囲より遅いスタートだったのですね。

もう、漫画『バリバリ伝説』の世界ですよ。免許を取って、ガソリンスタンドで働いて。レーサーになるために早朝の人がいない時間帯に友達と峠に行って、車が来るまで練習し続けて。本当に一歩ずつ目標に近づいていきました。16歳から練習を始めて、20歳からレースに出てポイントを重ね、プロデビューに到達しました。全日本選手権に出られたのは22歳の時です。

—— 素晴らしい功績を収められたようですね。

自分よりもすごいレーサーはたくさんいますが、自分なりに後悔しないように全力で挑みました。デビューした2004年、SUGOROロードレース選手権ST600クラスでシリーズランキング2位になり、翌年に国際ライダーに昇格。2006年から3年間、全日本ロードレース選手権GP250クラスにフル出場しました。2008年、ロードレース世界選手権(MotoGP)の日本GP/250ccに運良くワイルドカード参戦し、2009



2009年シーズン前フォトセッション

年からドイツのヤマハR6・ダンロップ・カップ(以下、ヤマハカップ)に参戦することができました。2010年、26歳の時にヤマハカップ開幕戦で3位入賞し、その年を最後に引退しました。

—— ワイルドカード参戦とは？

一年に一度、世界選手権が日本でも開催されるのですが、開催国の若手選手にスポット参戦する資格が与えられます。それがワイルドカード参戦です。自身の成績は本当に大したことがありませんでしたが、若手をもっと応援しようという風潮がオートバイの世界にも強まってきた時期で。本当にラッキーでした。ちょうど2008年からワイルドカード参戦に年齢制限が付き、25歳以下で

成績が伸びてきているレーサーにスポットが当てられるようになりました。子どもの頃にBS放送で世界選手権を見てこの世界に憧れ、暴走族をこの世から追放するためにロードレースに出たいと思って始めた私ですが、本当にアニメのストーリーのようには世界の舞台で闘うことになったのです。

—— ドイツのヤマハカップには日本人として初めてフル参戦されたそうですね。

たぶん、ドイツでフル出場するなんて、後にも先にも私しかないでしょう。ドイツでレース参戦するには非常にお金がかかりますから。

—— プロレーサーになって順風満帆の日々でしたか？

良い経験をたくさんさせてもらいましたが、現実はとても厳しいものでした。世界選手権に出なくて必死でしたが、持病の手術をしなければいけなくなり、お金はなくなる一方でした。私のレーサー活動は常に資金面がギリギリの状態で行っていましたが、オートバイレーサーは全日本選手権を1年間戦うだけでも1000万円くらい要するので、常に借金です。それなのに、追加で世界選手権に出るなんていったら、さらに300万円くらい必要になります。どんなに働いても足りない。そ

れでも、一生に一度しかないのであるチャンス。何としても出場しなければと思って、夜も眠れなくなるくらい悩みながら毎日を過ごしました。とりあえず足を動かしていろんなところにスポンサー活動に行っても全然お金は集まらない。そんな時、ある方が「個人スポンサーを集めてみたら」と言ってくれました。1万円を支援金として出してくれる人が300人いたら、それだけでも300万円になる。当時、私はブログを毎日書いていて、他愛もない内容でしたが、オートバイレーサー業界ではアクセスランキング1位を記録していました。まだ本気でSNSをやる人がいなかった時代です。そこでスポンサーを募集したら、何と百何十人の個人スポンサーが集まりました。なんとかレースに出ることができました。

—— 自らスポンサーを探して資金を調達したのですね。

ここまできたら腎臓片方を売ってでも出ようという気持ちで世界選手権に臨みました。全日本で1位を取ったことはありませんが、幸運にも世界選手権を走らせてもらって、そこでもギリギリ予選を通過して、何とか決勝を走るまでは行けました。一緒に出場していた日本代表の選手たちが3人くらい転倒やマシントラブルでリタイアする中、私は完走す

ることができて、世界のレギュラー参戦ライダーも2台くらい抜いて。自分の実力を試すことができました。

——最も記憶に残っているレースは？

どのレースも鮮明に覚えています。が、やはり2008年の世界選手権。45分間、23周のレースを完走したあの瞬間は、何ものにも変えられない特別な時間でした。あの時、無理をしても諦めないで出場して本当に良かった。あの経験があったからドイツに行くことができました。

——活動の支えとなったのは？

十分な資金がなければ、レーサーとしての経験値も少なかった私ですが、多くの人との出会いがあったからこそドイツに渡ることができました。2009年、ドイツのヤマハカップに出るきっかけをつくってくれたのは、世界選手権以降、私の活動を手



2010年第一戦、3位表彰台

伝ってくれたマ

ネージャーのお

かげです。彼女

から「世界に行っ

てみてはどうか」

と声をかけても

らい、ドイツ・

ヤマハの森本社

長をご紹介いた

だきました。メー

カーとして支え

てもらったわけではありませんでし

たが、森本社からはドイツの住ま

いやオートバイの整備工場、日銭を

稼ぐためのアルバイト先まで紹介し

ていただいて。住むことになったア

パートの大家さん、アルバイト先の日

本食レストランでも、異国の地では

あったものの日本人の方々と出会え

たからやっていくことができました。

——その状況から2010年シー

ズン開幕戦3位は素晴らしいですね。

ドイツでの

レースを語る上

で、盟友・スヴェ

ン・ベニンの存

在は欠かせませ

ん。スヴェンは、

私がドイツに

渡って間もなく

出会ったドイツ

人ライダーで

す。ドイツで



2010年ドイツラジッツ、ヤマハドイツ森本社長と

レースに出場するということは、テナントの設営やマシンのメンテナンスも、全て自分で管理しなければいけません。本来であれば10人ほどのチームで分業するのが普通ですが、私にはその仲間がいなかった。私が見て笑う人ばかりだったのに、「お前、このレースに出るのか？」と声をかけてくれたのがスヴェンでした。お互いに中学生レベルの英語でやり取りをしながら、テント設営を手伝ってくれて。年間7戦ほどある中、最初は一人だったのがだんだんと仲間が増えて、2009年の最終戦では6人くらいの仲間たちと戦うようになっていました。しかし、事故が起きたのもその最終戦でした。スタート直後の多重クラッシュに、一緒に出場していたスヴェンが巻き込まれ、大ケガを負ってしまったのです。それでも、2010年シーズンの第1戦、サーキットに行くと松



2010年ドイツホッケンハイム最終戦後、助けて頂いた人たちと。

葉杖をついて自力で歩くスヴェンの姿がありました。「俺はお前のメカニックだからな」と言って、一年間ずっと私についてきてくれて。レーサーとして活動した6年間、協力してくれた人たちの顔は今でも忘れられません。多くの支えがあったから、自分を信じて最後まで走り切ることができました。

——遠藤さんの人生を賭けた戦い、すてきな物語ですね。次回は合同会社P&Uの事業についてお話を伺います。

随想

夕やけこやけ



怪我とスパイス


株式会社江口屋
代表取締役社長
本間 健夫

皆様こんにちは。江口屋の本間健夫と申します。江戸末期頃より紙の卸を始め、ローソク製造、ロー引き紙の加工・販売を経て次第にそれが苗の保温にも使用され、現在では農業ハウス設計施工や農業資材の卸を通じて新潟の農業の発展に寄与すべく努めております。

趣味はSUP（スタンドアップパドルボード）、スノーボ、バイクなど色々ありますが、2024年8月末に、自宅で泥酔により転倒し右足小指を骨折、それらの趣味が無理とな

りました。治るまでの間、仕事柄農業に近いため所持している資格・野菜ソムリエ的な興味から、また昨今の不安定な世界情勢の背景を探るべく、野菜や地理歴史についての本を10冊以上読みました。読み進むうち、スパイス、宗教、世界史の3つは密接な関係を持っていると同時に、世界中に唐辛子が広まっていくのはコロンブスが活躍した大航海時代以降であるため、それまでインドのカレーや韓国のキムチには唐辛子が使用されていなかった、という発見がありました。

またスパイスについて思考を巡らす時間が増えたため、日本の普及期当時のカレーを、市販のルーを使用せず、ウコン、クミン、コリアンダー、クローブ等々のスパイスを使用し週1回程度作るようにもなりました。具は豚肉または鶏肉、じゃがいも、人参、玉葱で、小麦粉は使用せずサ


こちらは日本米の
カレーです

スパイス炊き込み
ご飯のビリヤニ

ラサラしています。米はカレーに合うバスマティ米を茹でたのちにザルでお湯を捨ててから鍋で蒸らす「湯取り法」を試したりしています。カレーとともに夢中になっているのが、スパイス炊き込みご飯であるビリヤニです。スパイスで炒めた具に、茹でた米をのせて蒸します。

怪我をきっかけに得た楽しみの一つをご紹介しましたが、当然ながら怪我は周りに大きな迷惑をかけていますので、怪我をするほど飲みすぎないよう、今ではお酒はソフトドリンクを必ず挟みながら頂いております。

編集後記

今回は、私が尊敬する遠藤卓実ライダーをご紹介できて、感無量です。次回も彼の会社が記事になりますので、ご期待ください。

私事ですが、大阪万博で行われた学会に参加したため、パビリオンをいくつかのぞくことができました。ドーナツ状に巨大な木造建築で囲われた万博会場や、パビリオンを眺めたりするだけでも感動します。大量の税金が投じられたイベントです。時間に余裕があって、体力に自信のある方は、是非とも足を運んでみてください。

広報委員 津野 芳彰



ドーナツ状の巨大な万博会場

